

下水道インフラを維持・再構築する

『SPR-NX工法』【中心筒昇降型ドロップシャフト】

積水化学工業

積水化学工業（東京都

港区虎ノ門二―三―一七

・虎ノ門2丁目タワー、

2015年5月21―27

日）は、八月六日（九

日）までパシフィコ横浜で

開催された「下水道展」

で、心える技術も多岐

に渡る課題・下水道への

熱い期待をテーマに

下水道関連の技術や工

法、製品各種を紹介し、

来場者より好評を博し

た。

同展示会で実演を交え

て初めて紹介された「S

PR-NX工法」は、S

PR工法で培ったノウハウ

を活用し、更なる技術

革新を図ることにより、

安全性を向上すると共に

工期の短縮も実現した複

合管更生工法である。

同工法は、老朽化した

管内を小型製管機が自走

して構築した更生管を支

保工レス注入技術により

固定し、新管と同等以上

の強度・流下性能に魅ら

せるもの。

新開発された小型製管

機は徹底した小型化が図

られており、施工後の流

下阻害はほぼゼロ。高水

深過ぎよ、ゲリラ豪雨な

どによる急な水位上昇に

も対応できる。

また、浮上防止のみの

支保工レス注入技術によ

り、資材の設置・撤去工

の省力化が図れ、施工期

間を短縮できる。

自走式製管により、既

設管に曲がりや段差があ

ってもスムーズに施工可

能。更生後は高強度に加

え、耐食性、耐摩耗性、

耐震性に優れるなどSP

R工法ならではの特性を

活かしている。

対応管種は鉄骨コンク

リート管など。φ100

0～1500mm（800

～2000mmまで順次拡

大）の管径に対応する。

また、同展示会では中

心筒昇降型ドロップシャ

フト」も初出展され、こ

ちらも注目を集めた。

ドロップシャフトは効

率的に高落差処理が行え

るものの、外側から維持

管理を行うための大きな

スペースが必要なため、

さらに狭小地でも設置ニ

ースが寄せられていた。

これに対し、同製品は

φ900mmの中心筒から

マンホール底部へ昇降で

っているが流量は従来通

きるようになっているこ

の問題を解決。従来の必

要入孔スペースに比べて

約50%以上縮小すること

ができ、狭小地での設置

を可能にしている。

尚、同展示会では17年

昇降部と水流部が分離

度・18年度に続き、本年

しているので安全に昇降

度も出展者表彰「最優秀

可能。オープンで中心

賞」を受賞しているほ

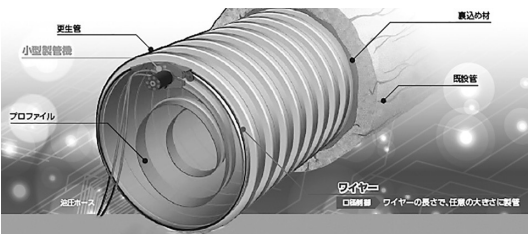
か、石井国土交通大臣も

視察に訪れた。

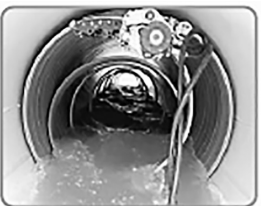
視察に訪れた。

https://www.es.tnjin

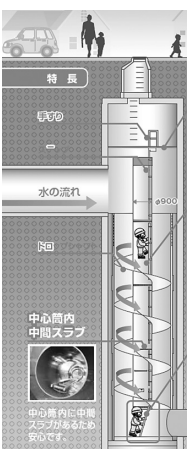
es.com/



SPR-NX工法のイメージ図①と施工例②



φ900mmの中心筒から



中心筒昇降型ドロップシャフト

